

沼間守一 ぬまま じゅいち 政論家。弘化元年十一月一日江戸生れ、明治二十二年五月十七日歿（八四―九〇）。善好高梨、通稱慎次郎、高梨新次郎。號不（不）、墨樓主人、奴間、弄花生。幕府の軍艦教授所、陸軍傳習所の學ぶ。戊辰戦では官軍と戦ひ、捕縛せられ下獄。維新後司法省判事、元老院權大書記官等も、明治十二年言論彈壓に抗議して退官し、可憐鳴雜誌（可憐鳴）を創刊。また、可横濱毎日新聞（可横濱毎日新聞）を買収して、可東京横濱毎日新聞（可東京横濱毎日新聞）と改題、社長となる。東京府會議員、十六年同議長。

著譯書 可内外大家論説集（可内外大家論説集）（合著・片岡綱紀編、明治十二年二月五日出版）
 出版者・山中市共衛出版）
 可國憲論編（可國憲論編）（合著・山岸文藏編、明治十二年六月一日甘泉堂）、
 可先（可先）生高談集（可先生高談集）（岩井貫一郎纂輯、明治十二年七月一日巖々堂）、
 可本演説大家集（可本演説大家集）（初篇）（可本）（合著・坂田哲太郎編、明治十四年二月漸進堂）、
 ダイヤー著、可世泰曲通鑑（可世泰曲通鑑）、
 卷之廿二（可卷之廿二）（波多野傳）二郎共譯、明治十八年一月輿論社出版部）等。
 文獻、藤田一郎著、可時勢對話（可時勢對話）（贈板垣退助若書、與大隈重信若書）（與大隈重信若書）（明治十五年四月）
 可白希・並木鏡太郎（可白希・並木鏡太郎）編輯）等。

